

平成 27 年度愛媛大学技術系実務研修報告

実習工場技術班 内田 温子

主 催：国立大学法人愛媛大学
研修期間：平成 27 年 10 月 26 日（月）
研修会場：愛媛大学工学部実験実習棟 2 階多目的室

1. 研修の目的

本研修は、事務系職員が技術系職員の業務を知ることにより、技術部の担う役割や業務について理解を深めるとともに、職員相互の意識及び資質の向上を図り、円滑な業務遂行に繋がることを目的として実施した。

2. 参加状況

本研修では、募集人数 5 名程度に対して事務系職員 6 名の参加があった。

3. 研修の内容

- ・工学部等技術部の体制及び実習工場技術班の業務紹介。
- ・3D プリンターの概要説明、及び製作事例の紹介。
- ・3D スキャナー（Artec 3D）及び修正ツール（Geomagic Claytools）による 3D モデルの作成体験。
- ・プラスチック積層型 3D プリンター（Cube）によるモデル造形の見学。
- ・紙積層型 3D プリンター（Mcor Iris）によるモデル造形の見学、及び後処理の体験。



写真-1 モデル作成体験



写真-2 3D プリンター見学



写真-3 後処理体験

4. まとめ

本研修の目的は、事務系職員が技術系職員の業務を理解することであった。そのため、研修の始めに工学部等技術部の体制、業務の概要を説明した。また、より理解を深めるための実務体験では、3D プリンターに関する研修を、業務にどのように関係するかなどを説明し、意見交換を行いながら進めた。受講者に技術職員の業務について理解してもらっただけでなく、事務系職員の視点から意見を聞くことができた。職員がお互いの業務内容を理解し合うことで、今後より円滑に業務を遂行できる体制となることが期待される。

謝辞：本研修を実施するにあたり、ご協力いただいた関係各位に感謝申し上げます。